

平成27年度「情報化月間」情報化促進貢献表彰者

企業等の名称	代表者	業 績
西日本旅客鉄道株式会社	代表取締役社長 真鍋 精志 (まなべ せいじ)	<p>【業績】 従来、鉄道車両のメンテナンス業務は、熟練した作業員が書類を用いて手作業で行っていた。今回開発したシステムは、車両の検査計画から現場における検査作業のほか、資材管理や図面管理などのデータを一括して管理し、利用を可能とするものであり、このシステムの稼働により、「車両故障の低減」や「車両修繕費の低減」などの成果を生み出すことができた。これにより、鉄道の安全性・信頼性を向上させるとともに公共交通における情報化の促進に貢献した。</p>
名古屋ガイドウェイバス株式会社 株式会社京三製作所	代表取締役社長 園田 登喜男 (そのだ ときお) 代表取締役 戸子台 努 (とこだい つとむ)	<p>【業績】 従来のバスの運行管理システムは、電磁誘導通信による車両の位置検知装置を現場（駅間）に設備する必要があるため、地上インフラ設備の管理やメンテナンスが必要であった。今回開発した新システムは、GPSと無線を使用することで駅間に現場機器を設置する必要がなく、また、管理とメンテナンス費用を大幅に軽減することができた。これにより、地域公共交通における情報化の促進に貢献した。</p>
株式会社ピーエス三菱	代表取締役社長 藤井 敏道 (ふじい としみち)	<p>【業績】 従来のコンクリート構造物に対する電気防食工法の維持管理は、専門技術者による現地計測であったが、何時でも何処でも監視できる遠隔監視システム「モバイルモニター」を我が国で初めて開発した。これにより、維持管理性能を向上させ、安全・安心な国民生活に寄与し、社会資本の維持管理分野における情報化の促進に貢献した。</p>